

(様式1)

令和5年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

- 1 施設名 (所管課)
県営高岡武道館 スポーツ振興課
- 2 施設所在地
高岡市関72
- 3 施設設置年度
昭和51 年度
- 4 設置目的
県民の体育及びレクリエーションの振興を図る。
- 5 施設概要
延床面積：2,010.06㎡ 鉄骨・鉄筋コンクリート造2階建
(主な設備等)
・柔道場 (公式試合2面)
・剣道場 (公式試合2面)
・会議室、シャワー室
- 6 指定管理者
公益財団法人高岡市体育協会
- 7 指定期間
5 年
令和5年4月1日 ~ 令和10年3月31日

8 利用者数及び利用(使用)料金収入の状況

(1) 利用者数(人) ※この他、参考となる指標があれば追加

| R1 | R2 | R3 | R4 | R5 |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| 29,080 | 17,693 | 21,578 | 24,789 | 26,358 |

(2) 利用(使用)料金収入(千円)

| R1 | R2 | R3 | R4 | R5 |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1,761 | 1,158 | 1,352 | 1,650 | 1,761 |

(3) 利用料金収入見込み額 (利用料金制導入施設の場合)

| R1 | R2 | R3 | R4 | R5 |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1,907 | 1,924 | 1,924 | 1,924 | 1,924 |

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

・令和5年度は、コロナ禍における社会経済活動の回復傾向に伴い、利用者数・料金収入ともに増加した。

(2) サービス向上に向けた取組み

・各種大会、団体利用時において、要望に応じて開館時間の繰上げに柔軟に対応した。（早朝開館 74件、延長開館 随時実施）
・小学生を対象とした教室事業として「土曜っ子スポーツチャレンジ」（昼の上での運動など）を実施している。
・施設利用者へのアンケート調査や利用者からの聞き取り等により、施設に対する要望、利用者ニーズの把握に努めた。
・施設利用者の便宜を図るため、引き続き、飲料等の自動販売機を設置した。

(3) 利用促進（収入増）に向けた取組み

・指定管理者のホームページ、広報誌や施設掲示板等に、施設情報やスポーツ活動情報を掲載し、施設の利用促進に努めた。
・スポーツの日、こどもの日に施設無料開放事業を行うなど、施設の紹介・利用拡大に努めた。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

① アンケート結果

| | |
|-------------|--|
| 実施方法 | 施設利用者を対象にアンケートを実施 (実施期間：R5. 10. 1～R5. 11. 30) |
| 回答者数 | 回答者数：6人 |
| 結果 | ・施設管理 3.4点、利用条件 3.8点、職員対応 3.7点、スポーツ教室について 4.0点（各5点満点） ・意見・要望等 エアコンを設置してほしい |
| 結果を踏まえた改善事項 | ・現在の施設の構造上、大規模な電気工事が必要となり困難であるが、施設及び備品の整備については、県と指定管理者で協議を行い、必要に応じて対応していく。 |

② その他利用者の声を反映させる取組み

常時、受付窓口において利用者の要望・苦情を聴く体制を整えるように努めている。

③ 主な苦情と対応

無

(5) 個人情報保護の取組み

高岡市体育協会個人情報保護規程により、適切な個人情報保護に努めている。

(6) 関係団体との連携

施設周辺の美化に努めるとともに、近隣住民との良好な関係に努めている。

(7) 施設・設備の維持管理

施設・設備は概ね適切に管理されている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

- ・毎日3回、館内巡視を実施
- ・大会、団体使用後の館内巡視及び点検の実施
- ・新型コロナウイルス感染対策のため非接触式体温計を設置
- ・自衛消防訓練の実施（年1回）

10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
- ②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③個人情報に関するトラブルの有無
- ④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

| 有/無 | 回数(有の場合) |
|-----|----------|
| 有 | 12 |
| 有 | 1 |
| 無 | — |
| 無 | — |

【トラブルの具体的内容と対応】

無

11 今後の課題等（収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載）

・少子化による競技人口の減少など施設を取り巻く環境は厳しいが、土曜っ子スポーツチャレンジ事業のような武道以外の競技と組み合わせた施設利用や、新たな利用促進策の実施など、武道関係団体と連携し、施設のPR・利用促進を図っていく必要がある。